

【合併処理浄化槽処理水放流に伴う道路占用許可について】

【許可基準】

- 個人住宅（一戸建てで自ら居住する住宅）であること。
（店舗・事務所・倉庫・工場等の排水は認められません）
- 下水道法第4条第1項の認可を受けた地域以外であり、道路側溝以外に普通河川等の流末を形成する施設がない地域であること。
- 取り付けする道路排水施設の断面が300mm x 300mm以上で、かつ申請地側に排水施設があること。（道路を横断しての接続は認められません）
- 取り付けする管は内径100mm以下であること。
- 浄化槽からの排水であること。（雨水の排水は認められません）
- 合併浄化槽はBOD除去率90%以上、放流水のBODは20mg/l以下の機能を有すること。
- 合併浄化槽の規模は10人槽以下であること。

【申請に必要な書類】

- (1) 道路占用許可申請書（様式第1号）
- (2) 位置図（地図等に記載）
- (3) 現況写真（工事箇所を赤線で明示してください）
- (4) 放流水の水質確保に関する誓約書
- (5) 認可区域外証明書（下水道法第4条第1項の認可を受けた区域以外の証明書）
- (6) 平面図（間取り、浄化槽・排水管の配管位置等）
- (7) 接続断面詳細図
- (8) 公図（写）及び登記事項要約書（写）
- (9) 浄化槽の「型式適合認定書」（写）
- (10) 交通規制図

工事施工区域内における歩行者や通行車両の安全確保のために設置する各種標識、バリケード、夜間照明、誘導員の配置などを記載してください。

※申請は3部提出してください。（1部は許可書と一緒に返却されます）

※申請の内容によっては、省略できる書類があります。

※申請から許可までに3週間ほど期間を要しますので余裕をもった申請をお願いします。

（書類に不足や不備があった場合は期間が延びます）

様式第1号(第3条, 第4条第1項, 第5条, 第5条の2)

道路占用許可申請書
協議

新 規	更 新	変 更	令和	第 年	月	号 日
--------	--------	--------	----	--------	---	--------

令和 年 月 日

茨城県潮来土木事務所長 殿

住 所〒

氏 名



TEL

担当者

道路法 第32条 第35条 の規定により 許可を申請 協議 します。

占用の目的						
占用の場所	路 線 名					車道・歩道・その他
	場 所					
占用物件	名	称	規	模	数	量
占用の期間	許 可 日 から	日 間	占 用 物 件 の	構 造		
	令 和 年 月 日 まで		構 造			
工事の時期	許 可 日 から	日 間	工 事 実 施 の	方 法		
	令 和 年 月 日 まで		方 法			
道路の復旧方法				添 付 書 類		
備考						

記載要項

- 「許可申請協議」, 「第32条 第35条」 及び 「許可を申請協議」 については, 該当するものを○で囲むこと。
- | | | |
|--------|--------|--------|
| 新
規 | 更
新 | 変
更 |
|--------|--------|--------|

 については, 該当するものを○で囲み, 更新・変更の場合には, 従前の許可書または回答書の番号及び年月日を記載すること。
- 申請者が法人である場合には, 「住所」の欄には主たる事務所の所在地, 「氏名」の欄には名称及び代表者の氏名を記載するとともに, 「担当者」の欄に所属・氏名を記載すること。
- 「場所」の欄には, 地番まで記載すること。占用が2以上の地番にわたる場合には, 起点と終点を記載すること。「車道・歩道・その他」については, 該当するものを○で囲むこと。
- 変更の許可申請にあっては, 関係する欄の下部に変更後のものを記載し, 上部に変更前のものを()書きすること。
- 「添付書類」の欄には, 道路占用の場所, 物件の構造等を明らかにした図面その他必書類を添付した場合に, その書類名を記載すること。

道路占用
許可申請
協議書

新 規	更 新	変 更	令和	第 年	月	日
--------	--------	--------	----	--------	---	---

記入例

令和 〇 年 〇 月 〇 日

茨城県潮来土木事務所長 殿

住 所〒314-1111

△△市〇〇9876番5

氏 名

印

TEL 占有者の電話番号は必須

担当者

道路法 第32条 第35条 の規定により 許可を申請 協議 します。

占用の目的	合併処理浄化槽処理水放流のため		
占用の場所	路 線 名	一般県道 〇〇〇〇線	車道・歩道・その他
	場 所	△△市〇〇1234番5 地先	
占用物件	名 称	規 模	数 量
	浄化槽の型式	〇人槽	塩化ビニル管 φ100mm L=0.55m
占用の期間	許 可 日 から 年間	占 用 物 件 の 構 造	
	令和 年 月 日 まで		
工事の時期	許 可 日 から	3 日間	工 事 実 施 の 方 法
	令和 〇 年 〇 月 〇 日 まで		請負 (業者名)
道路の復旧 方 法	原形復旧	添 付 書 類	備考欄に記入
備考	〇位置図, 現況写真, 誓約書, 区域外証明書, 平面図 (間取り, 浄化槽・排水管の位置), 接続断面図, 浄化槽型式認定書 (写), 公図 (写) 及び登記簿 (写), 交通規制図, 委任状 (申請を代行する場合)		

記載要項

- 「許可申請 協議」, 「第32条 第35条」 及び 「許可を申請 協議」 については, 該当するものを〇で囲むこと。
- | | | |
|--------|--------|--------|
| 新
規 | 更
新 | 変
更 |
|--------|--------|--------|

については, 該当するものを〇で囲み, 更新・変更の場合には, 従前の許可書または回答書の番号及び年月日を記載すること。
- 申請者が法人である場合には, 「住所」の欄には主たる事務所の所在地, 「氏名」の欄には名称及び代表者の氏名を記載するとともに, 「担当者」の欄に所属・氏名を記載すること。
- 「場所」の欄には, 地番まで記載すること。占用が2以上の地番にわたる場合には, 起点と終点を記載すること。「車道・歩道・その他」については, 該当するものを〇で囲むこと。
- 変更の許可申請にあつては, 関係する欄の下部に変更後のものを記載し, 上部に変更前のものを()書きすること。
- 「添付書類」の欄には, 道路占用の場所, 物件の構造等を明らかにした図面その他必書類を添付した場合に, その書類名を記載すること。

放流水の水質確保に関する誓約書

令和 年 月 日

茨城県潮来土木事務所長 殿

浄化槽設置者（占有者）

住 所

氏 名

㊞

電 話

合併処理浄化槽処理水を道路側溝へ放流するための管の取り付けに関しては、以下のことを誓約します。

1. 放流管の取り付けに際しては、道路管理上支障がない方法で設置すること。また、道路の掘削等を行ったときは、原状に復旧すること。
2. 浄化槽法で定められた保守点検、清掃、水質に関する定期検査を確実に履行すること。
3. 放流水の水質が常に適正に保たれるよう努めること。また、その水質が法令に定められた基準を維持できないときは、道路側溝への放流を中止すること。
4. 放流水に起因する臭気、水質汚濁その他生活環境を阻害する要因により近隣との紛争又は各種の問題等が生じたときは、占有者の責任において解決すること。
5. 放流水の水質等に関して、市町村、保健所又は道路管理者から指導を受けたときは、速やかに必要な措置を講ずること。
6. 道路側溝に土砂及び汚泥等が堆積し、処理水を流下させるのに必要な断面が確保されなくなったとき又は汚損が生じたときには、占有者が道路側溝の清掃を行うこと。また、道路側溝からの逆流による浄化槽等の被害及び堆積物による側溝機能不全を原因として生じた浄化槽等の損害等については、占有者は道路管理者に対し、損害賠償等の請求は一切行わないこと。
7. 道路改築等に伴い放流管を撤去又は付け替える必要が生じたときは、占有者の負担において対応すること。
8. 将来、公共下水道（農業集落排水を含む。）が設置されたときは、速やかに放流先をその公共下水道に切り替えるとともに、放流管を撤去し、道路側溝を原状に回復すること。

証 明 願

令和 年 月 日

申請者

住 所

氏 名

⑩

TEL

下記のことを証明願います。

1 私が浄化槽を設置する場所 ※.....は、

下水道法第4条第1項の許可を受けた区域以外の区域である。

2 当市には下水道法第4条第1項の認可を受けた区域はない。

(該当する番号を○で囲むこと)

(※印には浄化槽の設置場所を記入すること)

第 号

上記のとおり相違ないことを証明する。

令和 年 月 日

⑩